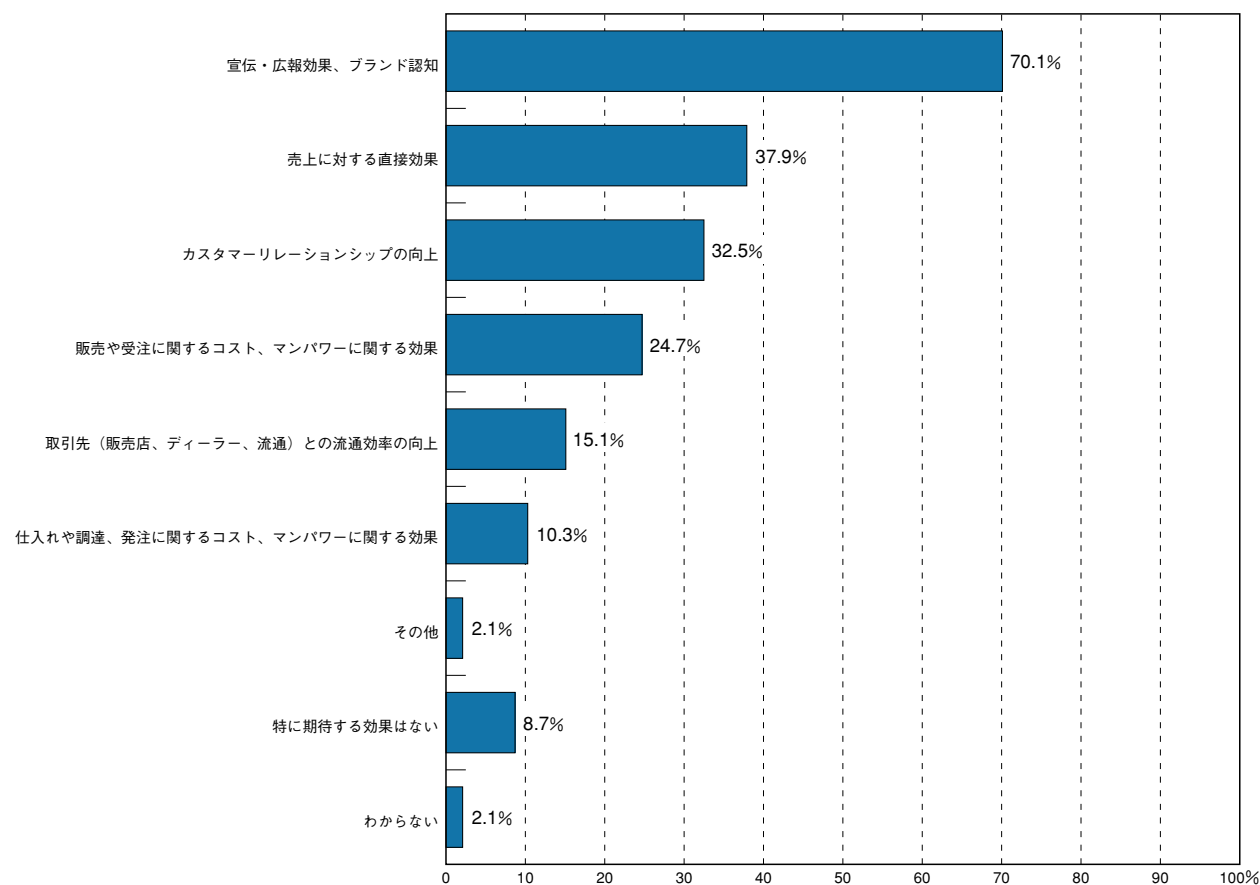


ウェブサイトの効果と課題

売上に対する直接効果やカスタマーリレーションシップの向上効果がメイン

資料4-6-13 ウェブサイトの効果 N=668



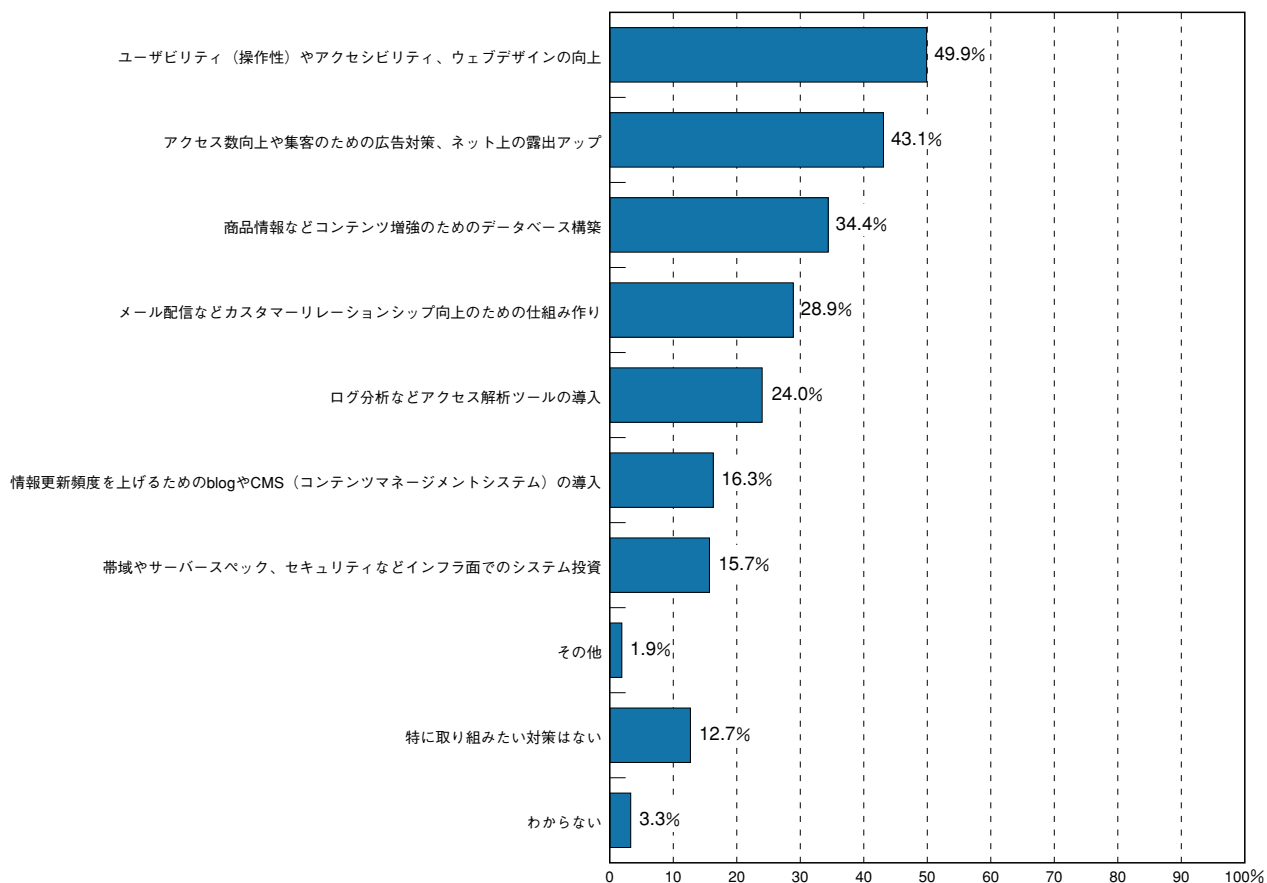
©impress,2004

ウェブサイトの効果については、今後期待するインターネット利用の効果を聞いた資料4-5-3 (p.253) に対する回答を踏まえたうえで見ると興味深い。インターネット利用全体ではマーケティングや社内活性化が上位であったが、ここでは売上に対する直接効果やカスタマーリレーションシップの向上効果といった、非常に直接的で具体的なものが上位に挙げられている。

ウェブサイトの効果と課題

デザインやユーザビリティの向上が約半数

資料4-6-14 費用対効果を期待して今後取り組みたいウェブサイトのための技術やサービス N=668



©impress,2004

ウェブサイトに関して今後取り組みたい技術やサービスに関しては、基本的要素ともいえるデザインやユーザビリティの向上を挙げる企業が最も多かった。これはウェブサービスを展開しながら、ウェブに対する明確な予算が割り当てられていないと回答した企業の回答が大きく影響していると考えられる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp